

「ため池」を知る

ため池とは？

ため池は、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のことです。農業用水としてだけでなく、防火用水など地域用水としても活用されています。

！こんな時は要注意!! 「大雨のとき」「大地震のとき」

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生していますので注意しましょう。他にも融雪や老朽化による被害も報告されています。

豪雨によるため池の被害メカニズム

■クラック

堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。

■沈下

堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生している。

■斜面崩壊

堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。

■斜面すべり

地震等により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。

■崩壊

堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

地震によるため池の被害メカニズム

■浸透破壊

パイピングホール

堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。

■すべり破壊

豪雨による浸透

貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の方面部の強度が低下することによって、方面部ですべりが発生し破壊する場合があります。

■越流破壊

越流

越流侵食

豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。

地図には武井ため池・菅ノ沢ため池・大清水ため池・沼ノ沢ため池・鴻ノ巣ダムのハザード情報をP.29・30に掲載しています。決壊した場合の浸水想定エリアと到達予想時間を知ることができます。

住民行動

ため池の異常に気がついたらすぐに連絡・通報!

- ▶ 日頃から家族や地域の方と話し合い、災害時の危険な場所や避難場所を把握し、避難方法を確認しておきましょう。
- ▶ 危険を感じたら早めの避難を心掛けましょう。

防災準備

- 避難場所、安全な道路の確認
- 非常時持ち出し品を常備する。

情報収集

- テレビやラジオで気象情報の確認（緊急地震速報・台風情報）
- 避難情報に注意

避難

- 持ち出し品は最小限にする。
- 防災マップを携帯する。

警察 … 110
消防 … 119
新地町（農林水産課）… 62-2194

ため池ハザードマップ

大清水ため池・菅ノ沢ため池・沼ノ沢ため池
武井ため池・鴻ノ巣ダムについての情報

ハザードマップの掲載情報

① 場所ごとの浸水する深さ

場所ごとの浸水する深さを色分けして
地図上に表示しました。

② 到達時間

ため池の水が到達するまでの時間を
表示しました。



地図を見るポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう。(浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木等様々なものが押し流されてくる可能性があります)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 日頃から自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所(地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ)や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。



